

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	300 単位時間	160 単位時間	
	美容科	夜・通信	390 単位時間	160 単位時間	
	国際エステティック学科	夜・通信	300 単位時間	80 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

高津理容美容専門学校ホームページ公表 (ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/course_subject.pdf (名称)実務経験のある教員等による授業科目一覧表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

高津理容美容専門学校ホームページ公表
 (ホムペーヅアドバース)
https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/business_report.pdf
 (名称)事業報告書 法人の概要 7. 役員・教職員

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理容サロン・美容サロン経営 (1970. 11. 2～)	2010. 1. 11 ～ 2025. 1. 10	理美容業界のニーズを踏まえた教育方法の提案
非常勤	大学非常勤講師 (2018. 4. 1～)	2018. 4. 1 ～ 2025. 1. 10	授業計画作成の指導、教育及び進路指導に関する指導
非常勤	弁護士事務所経営 (1998. 4. 1～)	2019. 1. 11 ～ 2025. 1. 10	法務・コンプライアンスに関する指導・助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各科目ごとに、法定時間数を則り、1年間又は2年間の授業計画を作成している。特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到達目標・到達度が明確に理解できるように、テスト期間とその内容をシラバスに明記している。これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>高津理容美容専門学校ホームページ公表 (ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/gakko/syllabus/ (名称)授業計画書(シラバス)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1年を前期・後期に分け、概ね各期の終了月に成績判定テストを行う。理容科・美容科の成績は「秀」「優」「良」「可」「不可」5段階、国際エステティック学科の成績は「A」「B」「C」「D」の4段階で評価し、単位認定をする。成績不良により不可もしくは「D」となった場合の補講授業の後、追試験を行う。各教科の履修判定は、出席点+態度点+試験結果の総合点で行い、合計60%以上の得点で履修判定を行う。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をG P 数値化し、全科目の平均で成績評価を行う。

成績のG P 数値化基準

理容科 美容科

国際エステティック学科

G P	成績評価	
4	95～100 点	秀
3	85～94 点	優
2	70～84 点	良
1	60～69 点	可
0	0～59 点	不可

G P	成績評価	
4	90～100 点	A
3	80～89 点	B
2	70 点～79 点	C
0	0～69 点	D

※シデスコ成績判定基準による

客観的な指標の
算出方法の公表方法

高津理容美容専門学校ホームページ
(ホームページアドレス)
<https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/diploma-policy.pdf>
(名称) デイブ ロマポ リシー・成績評価

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマポリシー

理容・美容、エステティックに関する知識・技術を修得し資格取得に必要な能力を身につけ、サロンなど現場で実際に役立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。

- 1, 公衆衛生を担う理容師、美容、エステティシャンとしての社会的責務・職業倫理について理解している。
- 2, 科学的知識と適正な技術力基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。
- 3, 社会規範や人と接するマナーを身につけている。
- 4, 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。

履修認定・卒業認定

「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度・実績、試験結果の総合点で行い60%以上の得点で履修認定とする。所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

高津理容美容専門学校ホームページ
(ホームページアドレス)
<https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/diploma-policy.pdf>
(名称) デイブ ロマポ リシー・成績評価

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/financial_statement.pdf
収支計算書 又は損益計算書	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/financial_statement.pdf
財産目録	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/financial_statement.pdf
事業報告書	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/business_report.pdf
監事による 監査報告 (書)	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/financial_statement.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010時間	510 単位時 間	0単位 時間	1560単 位時間	0単位 時間	0単位時 間
	夜		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		33人	0人	4人	25人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																		
<p>（概要）</p> <p>科目ごとに、法定時間数に則り、2年間の授業計画を作成している。 特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到着目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシバラスに明記している。 これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。 また、学科授業、実習授業の基礎科目とともに、卒業後就職先に於いて、業界の新しい応用技術に対応できるよう、選択課目授業として専門教育科目と一般教育課目を設け、ヘアデザイン、ブライダルシェーピング・エステなどに特化した授業を行っている。</p>																		
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をG P 数値化し、全科目の平均で成績評価を行う。 成績のG P 数値化基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>G P</th> <th>成績評価</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>95～100点</td> <td>秀</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>85～94点</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>70～84点</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>60～69点</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0～59点</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>	G P	成績評価		4	95～100点	秀	3	85～94点	優	2	70～84点	良	1	60～69点	可	0	0～59点	不可
G P	成績評価																	
4	95～100点	秀																
3	85～94点	優																
2	70～84点	良																
1	60～69点	可																
0	0～59点	不可																
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>ディプロマポリシー</p> <p>理容に関する知識・技能を修得し資格取得に必要な能力を身につけ、サロンなど現場で実際に役に立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生を担う理容師としての社会的責務・職業倫理について理解している。 2. 科学的知識と適正な技術力を基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。 																		

<p>3. 社会規範や人と接するマナーを身につけている</p> <p>4. 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。</p> <p>履修認定・卒業認定</p> <p>「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度、実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。</p> <p>所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。</p> <p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導している。クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談できる体制が整備されている。また、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われ、特に無断欠席については保護者に連絡の上、協力を得ている。</p> <p>年に一度、保護者参観日を開催し、面談希望の保護者に対応し、問題があると思われる学生の保護者には来校を要請している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
理容業			
(就職指導内容)			
<p>就職指導室を設置し、クラス担任と連携した就職指導を行っている。</p> <p>2年進級時には、学生対象に就職オリエンテーションを実施し、卒業生等から就職先での業務の実際について学ぶ。</p> <p>企業向けには本校後援会、高津理容美容研究会等の会員を中心に理容業、美容業、エステティックサロンなどを対象に求人説明会を実施し、広く関係職種の求人票を受け付ける。更に、求人票を受け付けた会社のご協力により、学内にて年2回の「就職フェア」を実施し、会社内容、多様なサロン営業や、技術、接客業を学ぶ。</p> <p>学生の求職票により希望調査を行い、学校紹介等により企業へ応募する。</p> <p>例年、求人人数が10,000人以上あり、就職希望者は全員先が確定する。</p>			
(主な学修成果(資格・検定等))			
令和4年3月生卒業生の実績			
① 理容師(卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業により、理容師資格を得る。)			
…受験者12人、合格者11人 合格92%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による生活指導。授業時数不足または成績不良による補習授業の実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間	510 単位時 間	0 単位時 間	1590 単 位時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
640人		354人	0人	41人	34人	75人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>(概要)</p> <p>科目ごとに、法定時間数に則り、2年間の授業計画を作成している。 特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到着目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシバラスに明記している。 これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。 また、学科授業、実習授業などの基礎科目とともに、卒業後就職先に於いて、業界の新しい応用技術に対応できるよう、選択課目授業として専門教育課目と一般教育課目を設け、ヘアデザイン・メイク・ネイル・ブライダルスタイリスト・エステティックなどに特化した授業を行っている。</p>							
成績評価の基準・方法							

(概要)

成績のGP 数値化基準

GP	成績評価	
4	95～100点	秀
3	85～94点	優
2	70～84点	良
1	60～69点	可
0	0～59点	不可

卒業・進級の認定基準

(概要)

ディプロマポリシー

美容に関する知識・技能を修得し資格取得に必要な能力を身につけ、サロンなど現場で実際に役に立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。

1. 公衆衛生を担う美容師としての社会的責務・職業倫理について理解している。
2. 科学的知識と適正な技術力を基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。
3. 社会規範や人と接するマナーを身につけている
4. 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。

履修認定・卒業認定

「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度、実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。
所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。

学修支援等

(概要)

入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導している。
クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談できる体制が整備されている。また、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われ、特に無断欠席については保護者に連絡の上、協力を得ている。
年に一度、保護者参観日を開催し、面談希望の保護者に対応し、問題があると思われる学生の保護者には来校を要請している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
157人 (100%)	0人 (0%)	152人 (96.8%)	5人 (3.2%)
（主な就職、業界等） 美容業			
（就職指導内容） 就職指導室を設置し、クラス担任と連携した就職指導を行っている。 2年進級時には、学生対象に就職オリエンテーションを実施し、卒業生等から就職先での業務の実際について学ぶ。 企業向けには本校後援会、高津理容美容研究会等の会員を中心に理容業、美容業、エステティックサロンなどを対象に求人説明会を実施し、広く関係職種の人材を受け付ける。 更に、求人票を受け付けた会社のご協力により、学内にて年2回の「就職フェア」を実施し、会社内容、多様なサロン営業や、技術、接客業を学ぶ。 学生の求職票により希望調査を行い、学校紹介等により企業へ応募する。例年、求人人数が10,000人以上あり、就職希望者は全員就職先が確定する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 令和4年3月生卒業生の実績			
① 美容師（卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業により、美容師資格を得る。） …受験者157人、合格者154人。合格率98.0%			
② 色彩技能パーソナルカラーモジュール検定モジュール1 日本パーソナルカラー協会) …受験者12人、合格者12人 合格率100%			
③ パーソナルカラーリスト検定3級（一般社団法人日本カラーリスト協会） …受験者64人、合格者51人。合格率80.0%			
④ パーソナルカラーリスト検定2級（一般社団法人 日本カラーリスト協会） …受験者20人合格者19人。合格率95%			
⑤ JNCE ネイリスト技能検定3級（公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター） …受験者4人合格者4人 合格率100%			
⑥ JNCE ネイリスト技能検定2級（公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター） …受験者7人合格者4人 合格率57.1%			
⑦ JNCE ネイリスト技能検定1級（公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター） …受験者1人合格者1人 合格率100%			
⑧ JNA ジェルネイル技能検定 中級（NPO法人 日本ネイリスト協会） …受験者3人、合格者3人 合格率100%			
⑨ JNA ジェルネイル技能検定 初級（NPO法人 日本ネイリスト協会） …受験者4人、合格者2人。合格率50%			
⑩ JBCA ビューティーコディネーター検定3級（NPO法人 日本ビューティー・コディネーター協会） …受験者10人、合格者7人。合格率70%			
⑪ フォーマルスペシャリスト検定プロンズライセンス（一般社団法人日本フォーマル協会） …受験者25人、合格者25人。合格率100%			
⑫ AEAJ アロマセラピー検定 2級（公益社団法人 日本アロマ環境協会） …受験者22人、合格者19人。合格率86.4%			
⑬ JMA 日本メイクアップ技術検定3級（JMA 日本メイクアップ技術検定協会） …受験者28人、合格率28人。合格率100%			
⑭ JMA 日本メイクアップ技術検定2級（JMA 日本メイクアップ技術検定協会）			

<p>…受験者 27 人、合格者 26 人。合格率 96.3%</p> <p>⑮ JMA日本メイクアップ技能検定1級（JMA 日本メイクアップ技術検定協会） …受験者 14 名、合格者 10 名。合格率 71.4%</p> <p>⑯ CIDESCO インターナショナル ビューティセラー（一般社団法人 CIDESCO NIPPON） …受験者 9 人、合格者 8 人。合格率 89.0%</p> <p>⑰ 研究財団衛生管理者（公益財団法人 日本エステティック研究財団） …受験者 1 人、合格者 1 人。合格率 100%</p> <p>⑱ 認定エステティシャン（一般社団法人 日本エステティック協会） …受験者 10 人、合格者 10 人。合格率 100%</p> <p>⑲ エステティシャンセンター試験（一般社団法人 日本エステティック試験センター） …受験者 10 人、合格者 10 人。合格率 100%</p> <p>⑳ JBMAメイクアップ検定ベーシックコース（社団法人ジャパンビューティーマソッド） …受験者 50 人、合格者 50 人。合格率 100%</p>
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
372 人	27 人	7.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による生活指導。授業時数不足または成績不良による補習授業の実施		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	国際エステティック学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1260 単位時間	270 単位時 間	0 単位時 間	60 単位 時間	0 単位時 間	930 単位 時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		3人	0人	3人	0人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)															
(概要) 科目ごとに、法定時間数に則り、1年間の授業計画を作成している。 特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到着目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシバラスに明記している。 これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。															
成績評価の基準・方法															
(概要) 成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をG P 数値化し、全科目の平均で成績評価を行う。 成績のG P 数値化基準															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>G P</th> <th>成績評価</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>90～100 点</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>80～89 点</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>70～79 点</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0～69 点</td> <td>D</td> </tr> </tbody> </table>	G P	成績評価		4	90～100 点	A	3	80～89 点	B	2	70～79 点	C	0	0～69 点	D
G P	成績評価														
4	90～100 点	A													
3	80～89 点	B													
2	70～79 点	C													
0	0～69 点	D													
※シデスコ成績判定基準による															
卒業・進級の認定基準															
(概要) ディプロマポリシー エステティックに関する知識・技術を修得し資格取得に必要な能力を身に付けサロンなど現場で実際に役立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。 1. 公衆衛生をティションとしての社会的責務・職務倫理について理解している。 2 科学的知識と適正な技術力を基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。 3. 社会規範や人と接するマナーを身につけている 4. 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。															

履修認定・卒業認定

「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度、実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。
所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。

学修支援等

(概要)

入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導している。
クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談できる体制が整備されている。また、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われ、特に無断欠席については保護者に連絡の上、協力を得ている。
年に一度、保護者参観日を開催し、面談希望の保護者に対応し、問題があると思われる学生の保護者には来校を要請している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
美容業			
(就職指導内容)			
就職指導室を設置し、クラス担任と連携した就職指導を行っている。 学生対象に就職オリエンテーションを実施し、卒業生等から就職先での業務の実際について学ぶ。 企業向けには本校後援会、高津美容研究会等の会員を中心にエステティックサロンなどを対象に求人説明会を実施し、広く関係職種への求人票を受け付ける。 更に、求人票を受け付けた会社のご協力により、学内にて年2回の「就職フェア」を実施し、会社内容、多様なサロン営業や、技術、接客業を学ぶ。 学生の求職票により希望調査を行い、学校紹介等により企業へ応募する。就職希望者は全員就職先が確定する。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
卒業生の実績			
認定エステシャン（日本エステティック協会認定エステシャン） …受験者1人、合格者1人 合格率100%			
A j e s h e 衛生管理者資格（ …受験者1人、合格者1人。合格率100%			
J B M A メイク検定ベーシックコース …受験者1人合格者1人。合格率100%			
(備考) (任意記載事項)			
本校では、日本で最も歴史のあるエステティック団体、日本エステティック協会の認定資格を取得するとともに、更に、エステティックの世界最高権威「CIDESCOの国際資格」の取得を目標とします。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	3人	75%
(中途退学の主な理由) 担任による生活指導。授業時数不足または成績不良者には補習授業の実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	120,000 円	670,000 円	580,000 円	施設維持費、研修費・諸費用
美容科	120,000 円	670,000 円	580,000 円	施設維持費、研修費・諸費用
国際エステティック学科	100,000 円	840,000 円	350,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
◇学生が活用できる経済支援				
<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育の修学支援制度 ・日本学生支援機構奨学金 ・提携教育ローン ((株) オリエントコーポレーション、 (株) 三井住友銀行) 				
◇教育支援制度				
①2年次進級時 教育費用支援制度				
②コンテスト費用支援制度				
◇遠方からの入学者が安心して学べる学生寮				
<ul style="list-style-type: none"> ・新大阪報徳寮 (学校女子寮) ・カレッジルーム パオ (男子指定寮) ・アネックス パオ (男子指定寮) ・カサ デ パオ (女子指定寮) 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/self/-assessment.pdf (名称)自己評価結果		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>学校関係者評価の評価委員は、委員数8～20名とし、大阪近郊の理容・美容、その関連業界の代表的企業の経営者、及び本校卒業生により構成されている。年度内に1回開催され、教育活動に関する評価結果は、年度末に実施される教育課程企画会議に於いて検討し企画化、学校運営等に関する評価結果は、理事会に於いて検討し、改善点として活用される。</p> <p>評価項目は、①教育理念②学校運営・教職員組織、③本校教育の成果、④就職・国家試験、⑤学生支援、⑥教育環境⑦学生受入募集、⑧財務、⑨法令等の遵守、⑩社会貢献⑪国際交流の11の大項目と50の小項目とする。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(株)イグレック	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
(有)FR I SEUR 小牧	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
アズマ美容室	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
(株)いわみ美容室	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
夢工房ラ・ミューゼ	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	卒業生
スニップ	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	卒業生
LAZZ—World	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	卒業生
スーパーカット	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	卒業生
NATTY	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	卒業生
ROOCK WORK ORENGE	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	卒業生
(有)クリスタルマジック	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	卒業生
Mahea (マフェ)	2019. 4. 1～2023. 3. 31 (任期更新)	卒業生

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/party-assessment.pdf>
(名称) 学校関係者評価報告書

第三者による学校評価 (任意記載事項)

平成31年2月、一般社団法人専門職高等教育質保証機構による「第三者評価」を実施し、その報告書をホームページに掲載。

<http://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/2018techgraduatekozu.pdf>
(名称) 第三者評価報告書

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス)
<http://www.kozu.ac.jp>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		93人	84人	96人
内 訳	第Ⅰ区分	61人	51人	
	第Ⅱ区分	20人	-人	
	第Ⅲ区分	12人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				96人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給
付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより
認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	-人
訓告	-人
年間計	-人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下）	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	16人	11人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	16人	11人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。